

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	茅ヶ崎里山公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（藤沢土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

A

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営の状況 > A：個性ある施設群を、地域との連携を図りながら、バランスよく管理運営し、事業計画書等の内容を上回る事業を実施した。</p> <p>< 2 収支状況 > B：収支差額はプラス8.5%で、概ね計画どおりの収支状況であった。</p> <p>< 3 利用状況 > A：利用者数が目標数の148.4%であった。</p> <p>< 4 利用者の満足度（アンケート結果） > A：「満足」と答えた割合が91.0%であった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > B：指定管理者に起因しない苦情があったが、適切に対応した。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > B：事故が発生したが、適切に対応した。</p> <p>< 今後の方針等 > 優れた企画力・実行力を発揮しつつ、安全・安心を守るため常に備えるよう指導していきたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **A**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	<p>自然とのやりとりによる共生の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系を踏まえた管理、人と生き物の多様な環境を創る。 ・体験活動を通じて豊かな自然とふれあう喜びを体感する。 ・バイオマスの活用を計画的に行い、啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、自然関係の市民団体等との意見交換会を実施しながら、維持管理を実施した。 ・自然観察会、里山保全活用の活動に多くの参加者を得た。 ・園内で発生したチップを活用するボイラーの運転とその説明展示を行った。 ・地域の小中学校からの農体験受け入れをボランティアと連携して行った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	<p>地域や人とつながる交流の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用する人、汗をかく人の思いを受け止めて取り組む仕組みを創る。 ・県民の力、専門家の知恵を交換する機会をコーディネートする。 ・学校教育、地域づくりと連携し、郷土愛を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との連携によるコイノボリ掲揚、七夕まつり、県民企画の音楽コンサートなどを実施した。 ・公園運営会議、里山保全部会等の開催をコーディネートした。 ・昨年度整備した「里の家」を活用し、地域の食に関係する団体や文教大学と連携したイベントや料理教室を実施した。
3 (指定管理業務)	<p>あらゆる人と笑顔のレクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爽快な芝生、美しい花畑、陽光を浴びた植物とのすてきな出会いの場を提供する。 ・作りたい、交歓したいという活力を展開する施設運営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な樹木、芝生、花壇の手入れ、池や便所の清掃を実施した。 ・菜の花（4月）やソバ（6月）の花畑による修景を行った。 ・里山公園倶楽部の活動を、谷の家を中心に田んぼ、畑、雑木林など公園の各施設で、湘南工科大生を含んだ多くの会員により展開する運営を行った。
4 (自主事業)	<p>自動販売機等の運営を行い、収益を利用促進やサービス向上、広報活動に還元する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進イベント等への助成、パンフレットのリニューアルを行った。
5 リストから選択	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月20日	○	○	—	無	
5月	6月10日	6月24日	○	○	—	無	
6月	7月10日	7月29日	○	○	—	無	
7月	8月9日	8月30日	○	○	—	無	
8月	9月10日	10月3日	○	○	—	無	
9月	10月10日	10月25日	○	○	—	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		108,710	0	0	108,710	108,710		0
年度計画	前年度	134,762	0	0	134,762	134,762	0	0
	上半期	68,733	0	0	68,733	68,733	0	0
	下半期	66,029	0	0	66,029	66,029	0	0
	今年度	134,762	0	0	134,762	134,762	0	0
	上半期	69,408	0	0	69,408	69,408	0	0
	下半期	65,354	0	0	65,354	65,354	0	0
上半期実績	4月	11,288	0	0	11,288	9,177		2,111
	5月	11,145	0	0	11,145	10,361		784
	6月	13,085	0	0	13,085	13,675		▲ 590
	7月	10,867	0	0	10,867	9,384		1,483
	8月	10,944	0	0	10,944	10,464		480
	9月	12,079	0	0	12,079	10,424		1,655
	上半期合計	69,408	0	0	69,408	63,485	0	5,923
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 8.5%		③ 8.5%
参考	前年度 上半期実績合計	68,733	0	0	68,733	62,574		6,159
	対前年度 上半期実績比				1.0%	1.5%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 1件30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	47,192 人	50,704 人	93.1 %
5月	67,609 人	71,630 人	94.4 %
6月	33,617 人	34,075 人	98.7 %
7月	27,256 人	27,366 人	99.6 %
8月	22,173 人	22,723 人	97.6 %
9月	45,427 人	30,703 人	148.0 %
合計	243,274 人	237,201 人	102.6 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	243,274 人	237,201 人	164,000 人	① 148.4 %	② 102.6 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	243,274 人	237,201 人	164,000 人	48.4 %	2.6 %

※目標値の設定の有無

期間基準
 設定している
 半期ごと
 過去数年間平均

その他の場合の期間
 その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	施設整備が進み、利用者への周知が行き渡り、イベント等の利用促進も有効であったことから、目標数を上回っているものと思われる。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

<参考>

施設の最大利用可能人数

	東駐車場	西駐車場	北駐車場				合計
定員(1日あたりの延べ人数)	42	271	101				414
年間利用可能日数	365	365	365				
最大人数	15,330	98,915	36,865	0	0	0	151,110
半期	7,665	49,458	18,433	0	0	0	75,555

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	61	51	3	7	2	124	112 (91.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 124 件

回収 124 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	1	3	0	0	0	4
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	駐車場の利用制限のため駐車できなかった。	草刈に伴う安全確保のためだったが、今後は駐車状況を見ながら作業エリアを設定する。
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望等への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
8月6日	里の家近くでケーブルを切断される事故が発生した。	盗む目的で切断したものと推測される。	夜間警備を強化する等の改善を行った。
8月10日	公園中央付近の作業ヤードに保管していた草刈機が盗まれた。	柵の施錠が壊され、草刈機1台が持ち去られていた。	夜間警備の強化に加え、施錠の徹底、機械保管場所を外部から見えないよう工夫する等の改善を行った。

随時モニタリングの実施状況

該当あり

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
8月6日 (8月6日)	報告を受けて、事故現場と事実関係を確認した。	収集した情報を基に、今後の対応について指定管理者と打ち合わせた。
8月12日 (8月10日)	土曜日に速報を受け、月曜日に事故現場と事実関係を確認した。	重要な貸付物品の保管状況を確認するとともに、前回事故への対応も踏まえ、今後の対応について指定管理者と打ち合わせた。
()		